事 業 計 画 書

(様式第２号)【記載例】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 |  | |
| 事業期間 | 年　月　日から　　年　月　日まで | |
| 事業目的 | 事業を開始する年月日  事業が終了する年月日 | |
| 事業概要 |  | |
| 事業内容  ※１ | **プロジェクト（イベント、行事、会合等）ごとに、①実施目的、②実施時期、③場所、④対象者、⑤人数、⑥実施方法を記載すること。**  記載例）  １　○○の開催  　①実施目的　　使い捨てプラスチックごみ削減の○○  ②実施時期　　令和○年○月○日から令和〇年〇月〇日まで  　③実施場所　　滋賀県〇〇市　○○大学内  　④対象者　　　大学生および地域住民  　⑤人数　　　　２００名程度  　⑥実施方法　　大学内に○○○を設置し、○○を○○する　など  ２　●●の開催  ①実施目的　　食品ロス削減の●●  ②実施時期　　上記１と同時開催  　③実施場所　　上記１と同時開催  　④対象者　　　大学生、地域住民、地域の飲食店  　⑤人数　　　　上記１と同じ  　⑥実施方法　　大学内に●●●を設置し、●●を●●する　など | |
| 審査基準  ※２ | ①一般廃棄物の発生抑制・資源化  および環境負荷の低減 | ○滋賀県内で発生する一般廃棄物の発生抑制または資源化の効果  ○温室効果ガスの排出量等他の環境負荷に貢献するか。  **上記２点については必ず、数値など定量的・客観的・具体的に記載**すること |
| ②県内への波及性 | ○他のモデルとなる事業であり、県内への波及効果が期待されるか。  〇県民等への意識向上に繋がるものか。  〇多様な主体との連携により相乗効果を上げるものか。  〇県民等へのごみ削減の実践的な取組を促すものか。  **上記４点については必ず、数値など定量的・客観的・具体的に記載**すること |
| ③事業執行力および  事業継続力 | ○資金の調達能力が十分にあるか。  ○事業を遂行するために必要な技術的能力や人員体制は十分か。  ○期限内完了が見込めるか。  ○次年度以降も持続可能か。  **上記４点については必ず、数値など定量的・客観的・具体的に記載**すること |
| 補助事業の経費のうち、  補助金として賄われる部分以外に関する事項 | 負担者 |  |
| 負担額 |  |
| 負担方法 |  |
| 補助対象要件該当性  ※３ | | □国または地方公共団体等から補助金を受けていない。  □団体が実施主体（主催）となっている。  □団体の組織の運営・維持を目的とするものでない。 |

※１　プロジェクト（イベント、行事、会合等）ごとに実施時期、場所、対象者、人数を記載すること。  
※２　数値など定量的・客観的・具体的に記載すること。

※３　該当していればチェックする